

令和4年3月7・8・9日朝礼（各クラスを巡回）

3月になり、少しずつ温かさを感じられる季節になりました。皆さんが4月からの新しい学年に向けての準備をするのと同じように、身の回りの草花も、花を咲かせる準備をしているようです。

さて、今から11年前の3月11日、宮城県沖で大きな地震が発生しました。東日本大震災です。地震の揺れによって、たくさんの建物が壊れる被害が出てしまいましたが、それだけではなく、地震の後に高さ10mもある津波が海の方からやってきて、海のそばのまちを襲ってしまいました。そして、たくさんの人の命が奪われました。皆さんも想像してみてください。大切な人～子どもであったり、親であったり、友達であったり、いつも当たり前のように会って話をしていた人の命が、突然失われてしまったということです。この大切な命を守るために、秋竹小学校でも避難訓練をしています。また、常日頃から、危ないことを予測し、そのとき自分はどうしたらよいかを考える必要があります。東日本大震災では、大きな地震が起きた時に、とっさに高いところへ避難しなければならないと考えて、誰の指示も受けずにすぐに避難をして、大切な命を守った子どもたちがいます。ある小学1年生の子は、地震の時、一人で留守番をしていましたが、学校で教えられていたとおり、避難所まで自分で避難をして、自分で大切な命を守ったそうです。どうか、皆さんの大切な命を、これからも力強く大切に生きてください。

また、命を失わないまでも、家を失い、全国各地に避難した人がたくさんいます。愛知県にも多くいらっしゃいます。今でもまだ帰ることができない方も見えます。あま市では、すべての小中学校の子たちが、「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」の取組を行っていて、秋竹小学校では6年生の子たちが取り組んでくれました。避難されている方は、この寒中見舞いの絵手紙を見て、とても喜ばれているという話を聞いています。困っている人に私たちができることは何か、考えて行動することを、これからも大切にしていけることができたらと思います。